

シリーズ

埼玉の隠れた銘品百選

67

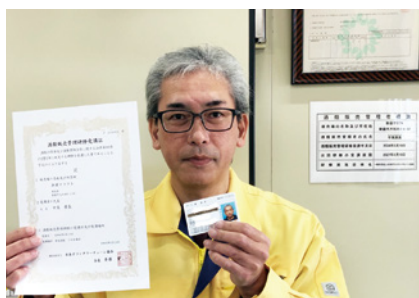
新座クラフト (株式会社システムアドバンス)

新座初のクラフトビールである「新座クラフト」には、柑橘系のさわやかな香りとはほどよい苦味の「IPA」、アロマホップの華やかな香りが特徴の「ペールエール」、軽い口あたりと麦の甘みの「ヘレス」、そして柔らかでフルーティーな「ヴァイツェン」の4種がある。新座市内を中心に、できるだけ多くの皆さんに好きになってもらおうと、^{とが}尖りよりは飲みやすさを追求したという。

実はこの地ビール、市内の電子部品メーカー「株式会社システムアドバンス」の本社屋の一角で醸造されている。同社の本業であるフォトマスク（半導体の微細回路の設計図）からはあまりにかけ離れているが、「1978年の創業から新座に育まれて約50年、今度は当社が新座を盛り上げたい」という地元愛の強さを知れば納得がいく。

醸造長の中嶋康長さんは、長らく半導体回路の設計や製造工程に身を置いてきた。2019年に新規事業責任者に任命されるまで、クラフトビールは「飲み専門」であったという。経営からゴーサインが出て以来、酒類の製造・販売に関する免許の取得、県内ブルワリーでの技術習得、そして2023年の自家設備の導入など、数多くの壁を乗り越えてきた。ラベルにある「NAKAJI'S」の標記は、ここに来るまでの中嶋さんの獅子奮迅の活躍を表している。

現在も、野火止用水の深井戸水や新座特産の冬人参の葉を使うなど地産地消を志向しているが、真のゴールは「地元の農家の皆さんとの協働の輪を広げ、全ての原料を新座のものにする、新座100%のビール」だという。その意気に「エール」を送りたい。



■ 株式会社システムアドバンス
新座クラフト醸造長 中嶋 康長
(代表取締役社長 上野 太一)

〒352-0004 新座市大和田3-4-5 URL:<https://www.niiza-craft.jp>
(武蔵野銀行 新座支店取引先)